

家庭教育学習資料を活用した 親育ち・家庭教育学習講座

子育ては悩みの連続

- 交友関係
- しつけの仕方、叱り方
- 中学校での集団生活
- 親同士の人間関係
- 遊びの内容
- 子どもの変化への対応等

語り合い
学び合い

親育ち・子育て学習講座

家庭教育学習資料

- 親自身に関する課題
- 親子関係に関する課題
- 親子と地域との関係に関する課題

- ◎参加者自身や子どものエピソード、悩み等を本音で語りましょう。
- ◎他の親の話にもしっかりと耳を傾け、子どもの様子と重ね合わせ、親として何ができるかを考えてみましょう。

実践

「親育ち」

- 子どもの個性や特質を子どもの様々な出来事やエピソードから把握し、理解する中で、子どもとどのように関わり、接していくかを学ぶ。
- 子どもの小さなトラブルやエピソードに付き合いながら、子どもの成長に伴って生ずるトラブルに、子どもが独立するまでの間、親として付き合いしていく決意と姿勢を形成する。
- 自己および家族の長・短所を認識し、長所を生かし他の親、家族に貢献できることを見出す。また、短所を支えてくれる人間関係を築く。

■ テーマ設定について

親の悩み

成長に伴う課題

- 進路についてどのように子どもと話し合い、決めていけばいいのだろう。
- 異性に関心をもち始めたけれど、親としてどう接すればいいのだろう。

家庭生活で

- 親と口をきかなかったり怒りっぽかったり、うまく会話が進まない。
- 子どもが何を考えているのかわからない。

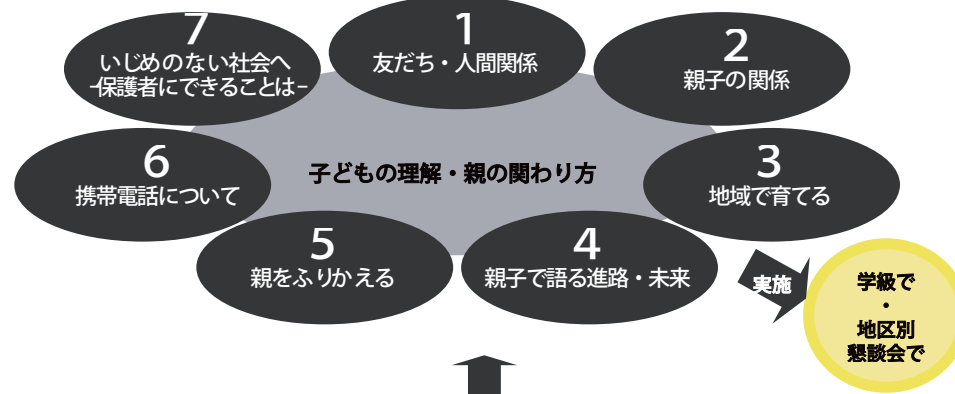
友達関係で

- 周囲の子の言動を必要以上に気にしている。表面上は親しくよそおっていても内心は違うみたい。友だちとの気持ちの通じ合いはあるのかなあ。
- 疎外したりされたりしていないだろうか。

地域社会で

- 社会性の豊かな子になってほしいから、地域の行事にもどんどん参加させたいけれど、中学生になったら地域の行事に参加しなくなった。

テーマ



子どもの姿と親の留意点

中学生になると体の成長がめざましく、体格が急速に大人に近づきます。また人間関係が大きく変わり、心の面でも子どもから大人へと変わりゆく時期にさしかかっています。自分の思いで行動しようとすることも増えてきますが、周囲と調和させながら自分の思いを伝えたり、行動したりすることにはまだ不慣れなために、生活のいろいろな場面でトラブルが生じやすい時期でもあります。たとえば、話すことを面倒がったり、ささいなことに腹を立て親に反抗したりということは中学生によく見られる姿です。親からは、我が子にどう接していいのかわからないといった声が多く聞かれるようになりますが、実は子どもも親との付き合い方に同じように戸惑っている時期なのかもしれません。変化の大きいこの時期だからこそ、親同士も支え合える人間関係を広げながら、子どもの新しい人間関係を見守ったり、学校との情報交換を密にしたりしながら、じっくりと腰を据えて子どもと向き合い、大人への坂を明るく力強く登っていけるようにしたいものです。